

「阿久比町都市計画マスタープラン（案）」に対する意見内容と町の考え方

番号	意見内容（要旨）	町の考え方
1	<p>農業者が激減していることは理解しているが、農地を減らすのではなく、農業をやっていく意欲が湧くような阿久比町独自の支援制度をつくるべきである。</p>	<p>農業の後継者不足等の課題があることは認識しています。今後は戦略的に市街地拡大を位置付けていくことが重要と考えており、農業と産業との振興の両立を図る方針としています。</p> <p>また、農業者の意欲向上に繋がる取組みとして、農業用資材や配合飼料等の高騰対策、生産物の価値や農業所得の向上及び農林畜産業を持続可能な産業として活性化させることを目指す6次産業化の推進等を行っています。</p>
2	<p>阿久比町は過去に何度も豪雨災害で大きな被害を受けている。貯水機能を持った水田面積が減ることは防災機能を弱めることになり、豪雨災害の危険性をはらんでいるため、農地を工業用地・商業用地へ換えることは反対である。</p>	<p>産業系候補エリア・商業系候補エリアはいずれも大半が水田を含む農地ですが、調整池等を各種法令等の基準に従い適正に配置することにより、雨水等の地下浸透量減少による下流への洪水流量増加を生じさせない措置を講じます。</p>
3	<p>阿久比町には自然景観・景観資源が少なく、植大や矢高に残された自然景観は資源にすべきである。また、虫が生息できる環境を残す、あるいはつくるようなプランを今回の変更へ加えることを希望する。</p>	<p>自然や景観資源の保全や活用については、67 ページ第7章「分野別まちづくりの基本方針」の7-5「自然環境・景観の形成方針」に記載しています。ホテルの生息環境については、ホテルの生息が確認されている阿久比川、草木川、前田川周辺の水田やため池を中心に保全を図っていきます。</p>
4	<p>産業・商業機能の拡充は町の活力維持につながる大切な取り組みであると思っている。一方で、町民の関心が低いように感じている。今後は産業・商業の拡充とともに、地域の活動や人と人との繋がり関係性を活かしながら、町民が気軽に関われる機会（情報発信や参加のきっかけづくり等）を広げ、「関わりたくなるまち」、「関わり続けたいくなるまち」としての魅力が高まることを期待している。</p>	<p>まちづくりに対して町民の皆さまに関心を持っていただくことは非常に重要であると考えています。いただいたご意見を参考に、気軽に参加できる仕組みづくりの検討など、まちの魅力づくりに取り組んでいきたいと考えています。</p>